

いのちとくらしをまもる  
防災減災

令和2年9月1日  
大阪管区気象台

### 近畿地方の梅雨入りと梅雨明けについて

令和2年の春から夏にかけての実際の天候経過を検討し、近畿地方の梅雨入りと梅雨明けの時期について、以下のとおり確定しましたのでお知らせします。

	梅雨入り		梅雨明け
本年	6月10日ごろ	本年	8月1日ごろ

(参考)

#### 1. 近畿地方の梅雨入りと梅雨明け (平年、昨年)

	梅雨入り		梅雨明け
平年	6月7日ごろ	平年	7月21日ごろ
昨年	6月27日ごろ	昨年	7月24日ごろ

#### 2. 令和2年の梅雨の時期(6～7月)の代表的な地点における降水量と平年比及び階級

観測点	降水量 (ミリ)	平年値 (ミリ)	平年比 (%)	階級
豊岡	588.0	336.8	175	かなり多い
舞鶴	527.0	350.4	150	かなり多い
京都	802.5	434.4	185	かなり多い
彦根	670.0	408.2	164	かなり多い
姫路	555.0	331.6	167	かなり多い
神戸	830.0	333.7	249	かなり多い
大阪	599.0	341.5	175	かなり多い
洲本	724.5	340.7	213	かなり多い
和歌山	650.0	333.5	195	かなり多い
潮岬	854.0	642.6	133	多い
奈良	621.5	353.8	176	かなり多い

(降水量は速報値、平年値は1981～2010年の平均値です。)

(注意事項)

- ・梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現しています。

問合せ先：気象防災部 地球環境・海洋課 担当 中江・藤原  
電話 06-6949-6653 FAX 06-6949-6160